

結核登録者情報調査 患者報告状況

1 新登録患者（平成24年1月～12月）の状況

平成24年における栃木県内の結核新登録患者の状況は次のとおりです。

(1) 新登録患者数（表1）

新登録患者の総数は266人で、前年に比べ6人増加しました。266人中、肺結核は223人で前年に比べ17人増加し、肺結核のうち喀痰塗抹陽性結核は106人で前年に比べ5人増加しました。

性別では、男性が142人（53.4%）、女性が124人（46.6%）であり、男性の方が多い状況です。全国の状況も同様であり、患者総数21,283人の性別構成割合は、男性61.0%、女性39.0%でした。

(2) 全結核罹患率*1（表1）

全結核罹患率は13.4で、前年に比べ0.4増加しました。

地域別にみると、比較的高いところは安足健康福祉センター管内で20.6、県南健康福祉センター管内で15.6となっています。

(3) 年齢階級別の状況（図1）

80歳代が最も多く78人（全体の29.3%）、次いで70歳代が52人（全体の19.5%）と高齢者の占める割合が高くなっています。全国的にも、80歳代が最も多く5,753人（全体の27.0%）、70歳代が4,595人（全体の21.6%）と高い状況です。

表1 新登録患者数及び全結核罹患率（平成24年1月～12月）

	活動性結核（人）								潜在性結核感染症（人）*2 （別掲） 治療中	全結核罹患率*1
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性		
		総数	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性・その他				
			総数	初回治療	再治療					
総数	266	223	106	97	9	76	41	43	53	13.4
男性	142	123	60	56	4	40	23	19	30	14.4
女性	124	100	46	41	5	36	18	24	23	12.4
宇都宮市保健所	51	32	20	17	3	9	3	19	23	9.9
県西健康福祉センター	28	23	9	9	0	9	5	5	3	14.9
県東健康福祉センター	22	20	6	5	1	9	5	2	0	14.9
県南健康福祉センター	75	66	32	29	3	26	8	9	12	15.6
県北健康福祉センター	34	34	15	14	1	10	9	0	5	8.8
安足健康福祉センター	56	48	24	23	1	13	11	8	10	20.6

*1全結核罹患率：1年間に発病した患者数（年間新登録患者数）を人口10万人対率で表したものの。栃木県毎月人口調査【県民生活部統計課】による平成24年10月1日現在の人口を用いて算出した。

*2潜在性結核感染症：結核の臨床的特徴を呈していないが、基準の検査方法により結核の無症状病原体保有者と診断され、かつ、結核医療を必要と認められ、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項の規定により届出された者。

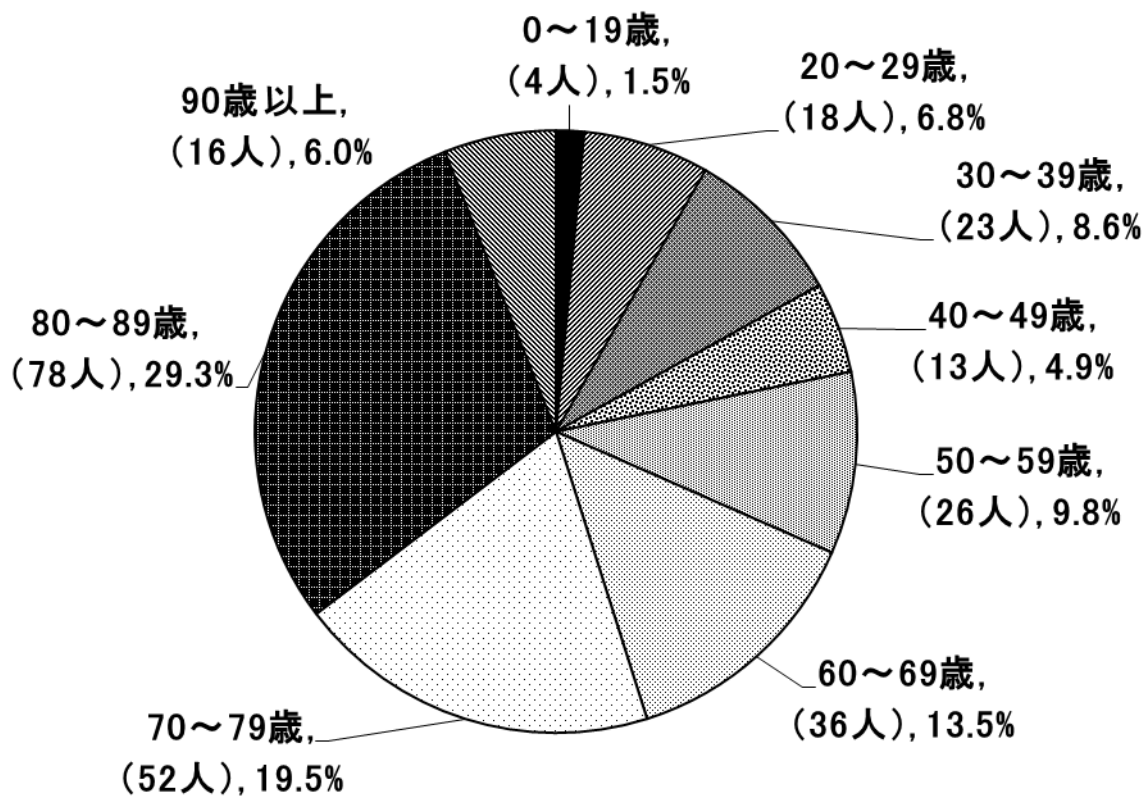


図1 新登録患者の年齢階級別割合(平成24年)

2 年末時登録者(平成24年末時)の状況

平成24年末時における栃木県内の登録者の状況は次のとおりです。

(1) 年末時登録者数(表2)

年末時登録者の総数は591人で前年に比べ61人減少しました。591人中、肺結核は150人で前年に比べ21人減少、肺結核のうち喀痰塗抹陽性結核は68人で前年に比べ18人減少しました。

性別では、男性が323人(54.7%)、女性が268人(45.3%)でした。全国の状況も同様であり、患者総数52,203人の性別構成割合は、男性60.7%、女性39.3%でした。

(2) 登録率*³及び有病率*⁴(表2)

登録率は29.7であり、比較的高いところは安足健康福祉センター管内で36.0、県東健康福祉センター管内で35.9、県南健康福祉センター管内で32.6となっています。

また、有病率は9.2であり、比較的高いところは安足健康福祉センター管内で14.0、県西健康福祉センター管内11.1、県南健康福祉センター管内10.4となっています。

(3) 年齢階級別の状況(図2)

80歳代が最も多く154人(全体の26.1%)、次いで70歳代が98人(全体の16.6%)、と高齢者の割合が依然として高い傾向にあります。全国的にも、80歳代が最も多く11,572人(全体の22.2%)、70歳代が10,589人(全体の20.3%)を占めています。

表2 年末時登録者数及び登録率、有病率(平成24年末時)

	総数 (人)	活動性結核(人)									不活動性 結核 (人)	活動性 不明 (人)	潜在性結核感染症 (人)*2 (別掲)		登録率 *3	有病率 *4
		総数	肺結核活動性			その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他	肺外結核 活動性	治療中	観察中						
			総数	喀痰塗抹陽性												
				総数	初回 治療								再治療			
総数	591	183	150	68	60	8	48	34	33	368	40	38	107	29.7	9.2	
男性	323	87	74	35	32	3	24	15	13	213	23	22	50	32.6	8.8	
女性	268	96	76	33	28	5	24	19	20	155	17	16	57	26.7	9.6	
宇都宮市保健所	154	34	22	11	9	2	6	5	12	92	28	15	39	29.9	6.6	
県西健康福祉 センター	56	21	18	7	7	0	6	5	3	35	0	2	2	29.7	11.1	
県東健康福祉 センター	53	14	13	5	5	0	3	5	1	39	0	0	0	35.9	9.5	
県南健康福祉 センター	157	50	43	20	17	3	18	5	7	103	4	9	44	32.6	10.4	
県北健康福祉 センター	73	26	25	11	10	1	8	6	1	40	7	3	4	18.8	6.7	
安足健康福祉 センター	98	38	29	14	12	2	7	8	9	59	1	9	18	36.0	14.0	

*2潜在性結核感染症:結核の臨床的特徴を呈していないが、基準の検査方法により結核の無症状病原体保有者と診断され、かつ、結核医療を必要と認められ、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項の規定により届出された者。

*3登録率:年末時登録者総数を人口10万人対率で表したもの。栃木県毎月人口調査【県民生活部統計課】による平成24年10月1日現在の人口を用いて算出した。

*4有病率:年末時の活動性結核患者総数を人口10万人対率で表したもの。栃木県毎月人口調査【県民生活部統計課】による平成24年10月1日現在の人口を用いて算出した。

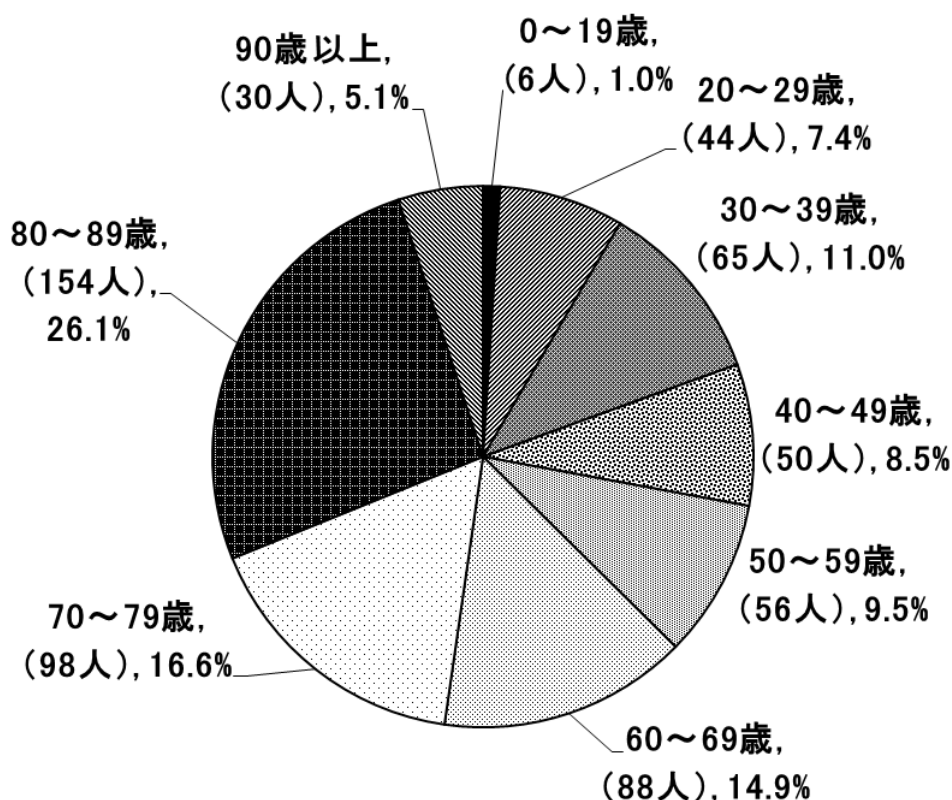


図2 年末時登録者の年齢階級別割合(平成24年)

3 経年変化の状況

栃木県の結核新登録患者数及び年末時登録者数の5年ごとの推移は図3、平成10年以降の年次推移は図4のとおりです。新登録患者数、年末時登録者数とも長期的には減少傾向で推移してきましたが、近年はその傾向が鈍化しています。

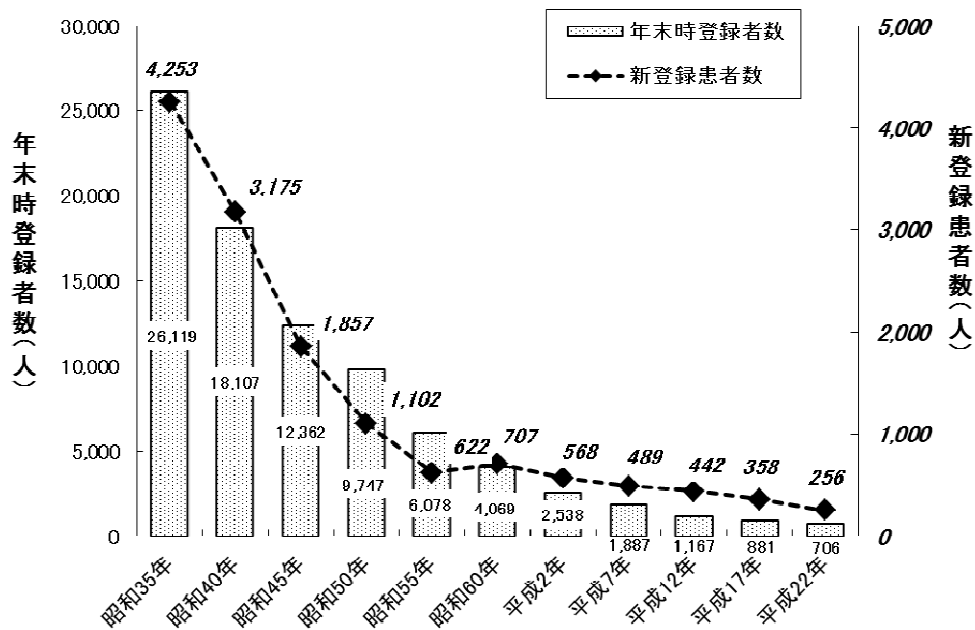


図3 結核新登録患者数及び年末時登録者数の推移【栃木県】
(昭和35年～平成22年)

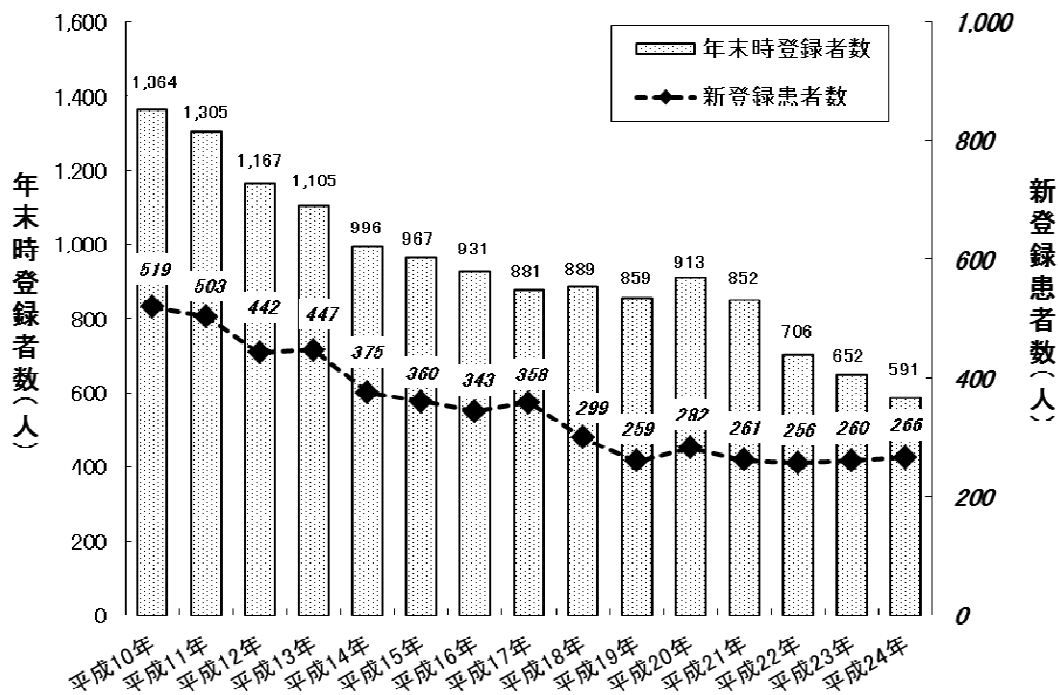


図4 結核新登録患者数及び年末時登録者数の推移【栃木県】
(平成10～24年)